



2005年7月15日
民主号外
調布・狛江版
民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-6988(代表)
http://www.zb3.or.jp

民主党東京都第22区総支部
〒182-0026
調布市小島町1-12-7 小笠原ビル3階
電話・FAX 0424-85-6687
http://www.ozakidaisuke.com
e-mail: ozaki-dai@luck.ocn.ne.jp

No.7



衆議院議員 山花いくお 秘書
民主党東京22区都政対策委員長

尾崎大介

おざき だいすけ

民主党は2005年夏の東京都議会議員選挙におきまして
北多摩3区(調布市・狛江市)で「尾崎大介」の公認を決定いたしました。

れんほう参議院議員と対談 (裏面)



31才



れんほう参議院議員(右)と対談しました

新世代、東京へ発進! 民主党大演説会

日時 **6月4日(土)**
午後6時30分～
場所 調布市グリーンホール
小ホール



尾崎大介の教育政策

- 家庭の教育力向上の支援
- 多様で質の高い教育環境の実現
- 家庭・学校・コミュニティーなど地域ぐるみの学校づくりの促進

「生きる力」は、単に学校だけで育まれるものではなく、家庭・学校・地域が、それぞれの役割を果たすとともに、相互に連携し、一体となって取り組むことが必要です。家庭や地域については、それらが本来有していた教育力を再生、発揮する努力を、また、学校については、教育力を確実なものとし、家庭や地域とともに子どもを育てていくという視点にたつて、家庭や地域の協力のもとに「開かれた学校づくり」を進める必要があります。

- 地域でつくる子どもの居場所
- 全ての子どもが学べる環境づくり

暴力行為、いじめなど児童生徒の問題行動の解決にむけて、地域や学校などが連携して取り組む体制づくりを進めます。また、不登校児童生徒や障がいのある児童生徒に対する教育の機会均等を実現するために、ITを活用した在宅学習、学校施設や教科書・教材等のバリアフリー化を推進するとともに、障がいのある児童生徒の能力や可能性を引き出し、自立して社会参加するために必要な力を養う教育を実践していきます。